

ハロ-通信



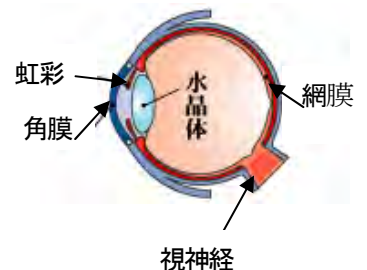
NO. 17
2006. 11月

「ものを見ること、それは誰にでもできること」。当然のことだと思って、日頃から目をむやみに扱ってはいませんか？今回は、中高年に発生しやすい眼の病気「白内障・緑内障」について取り上げてみました。目のかすみや視力が落ちたと感じる方は、一度眼科を受診してみてもいいでしょうか。

白内障

白内障とは？…加齢によって水晶体というレンズが濁ってくる病気です。

私たちの目の中には眼球の前の方に「水晶体」というレンズがあります。水晶体は本来、ガラスのように無色透明ですが、年をとるにつれて徐々に白く濁ってきます。透明である水晶体が濁ると視力が低下してきます。これが白内障です。白内障年齢が高くなるにつれて増え、70歳を過ぎると約8割の人が、80歳以上ではほぼ全員にあると考えられます。



●原因…たんぱく質と水のバランスが崩れることによる水晶体の濁り

水晶体そのものの老化に加え紫外線などの影響で、水晶体を構成するたんぱく質の分子が大きくなって、水に溶けにくくなることにより水晶体が濁ってくる考えられています。

●主な症状…「目がかすむ」「物が二重、三重に見える」「まぶしい」など。

白内障がある場合は眼鏡をかけても十分な視力は得られません。このような症状はほかの目の病気でも現れることがありますから、まずは眼科できちんと診断を受けることが大切です。

《《診断と治療》》

濁った水晶体を取り除いて人工のレンズを入れる「眼内レンズ挿入術」が一般的。

おもに、「細隙灯（さいげきとう）顕微鏡検査」で白内障の程度を調べ、眼底（目の奥）の状態を調べる「眼底検査」などを行い診断します。治療の一つに、点眼液を用いた薬物療法があります。しかし現在のところ、白内障の進行を遅らせるといわれる薬はあっても、白内障を治す薬は、残念ながらありません。そのため、白内障で失われた視力を回復させるためには「眼内レンズ挿入術」が最も確実な治療方法として主流になっています。手術時間も1時間程度で身体的負担も少なくてすみます。

緑内障

緑内障とは？…眼圧によって視神経がゆっくり障害される病気です



「緑内障」は視神経が障害されて視野が徐々に狭くなる病気で、中高年に多く見られます。

ほっておくと失明に至ることもあり、日本人の失明原因第1位の糖尿病性網膜症に続く第2位と

なっています。しかし、病気がかなり進行するまでは自覚症状がほとんど現れないため、発症しても緑内障と気づいていない人が大多数というのが現状です。

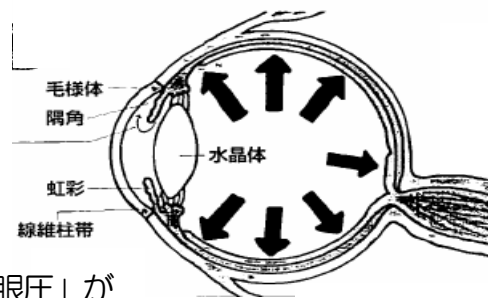
●原因・・・視神経が眼圧によって障害される

緑内障に深くかかわっているのは「眼圧」です。

この「眼圧」は、目の中で作られる水（房水）の量と目の外に出ていく水の量の差によって決まります。この水の出る

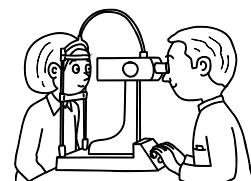
経路に何らかの障害が生じ、水が目の外に出にくくなるために「眼圧」が

上がります。「眼圧」が上がると、目の神経（視神経）が圧迫されたり、周りの血の流れが悪くなります。この状態が長く続くと目の神経が障害され、見える範囲（視野）が狭くなったり、見えない部分が出てきたりするのです。



《《早期発見のために》》

40歳を過ぎたら、定期的に眼底検査を受けることをお勧めします！



緑内障の代表的な症状は、視野が欠ける「視野欠損」です。左右差は多少あるものの、ふつう両方の目に起こってきます。タイプによっては「目の痛み、頭痛、吐き気」などの症状が、突然現れることもあります。多くの場合、長い年月をかけてゆっくりと進行するため、大半の人は視野欠損には気づきません。視神経の障害によって失われた視野は、元に戻すことはできません。したがって、早期発見が最も重要になります。40歳を過ぎたら、目に異常を感じなくても、1年に1～2回は、積極的に次のような目の検査を受けることが、とても大切です。

●眼底検査

検眼鏡や顕微鏡などで、瞳孔から眼底を観察して、視神経乳頭（視神経の束が網膜から出るところ）の状態を調べます。より詳しく調べるために、点眼薬で瞳孔を拡大することもあります。

●視野検査・眼圧検査

「視野検査」はいくつかの機器を用いて、光の見え方などから見える範囲を調べます。「眼圧検査」は空気を目の表面に当てて測る方法と、点眼麻酔をしたうえで特殊な器具を目の表面に当てて測る方法があります。

《《治療》》

薬で眼圧を下げるのが基本。レーザー治療や手術を行なうことも。

緑内障の治療は、薬で眼圧を下げるのが基本です。主に点眼薬が用いられます。近年はさまざまな薬が開発されており、いくつかの薬を組み合わせることで、ほとんどの場合、眼圧をうまくコントロールすることが可能になっています。目標となる眼圧は、患者様の視神経や視野の状態によって異なります。医師の指示通りに、回数などをしっかり守って、点眼を続けていくことが大切です。薬物療法で眼圧がなかなかコントロールできない場合は、「レーザー治療」が行われます。点眼麻酔で行なわれ、外来で可能な治療です。最後に、緑内障の方には一部使用できない薬があります、あらかじめ眼科のDr.にご確認されることをおすすめします。

編集後記 ～ ハロー薬局HP 開設！～

10月1日にハロー薬局のホームページが開設されました。内容は代表取締役の挨拶に始まり、各薬局の紹介、色々な取組みをブログで綴ったり、薬剤師インタビューや採用情報など様々です。患者様、学生の方にも楽しめる内容です。ぜひ一度ご覧下さい。
アドレスは <http://www.hello-pha.jp> です。 レッツ・アクセス！！